

JSCA 千葉ニュース (冬)

発行(社)日本建築構造技術者協会 JSCA千葉(広報委員会)
〒261-0004千葉県千葉市美浜区高洲3-20-38(株)齋藤建築設計事務所内 TEL 043-225-2181
FAX 043-277-0906

JSCA・千葉2009年 新年会・懇親会、開催される

去る2月2日(月)午後5時より三井ガーデンホテルにてJSCA・千葉の平成21年新年会が、JSCA・本部 木原会長を初め、行政及び関係団体



からの御来賓、会員・協力会員並びに所員のみなさまで100名を越す臨席をいただき盛大に開催されました。役員一同、心より御礼申し上げます。

向後副代表の司会進行のもと、齋藤代表の新年のご挨拶とともに一昨年より導入された「構造計算適合性判定」業務がJSCA会員の

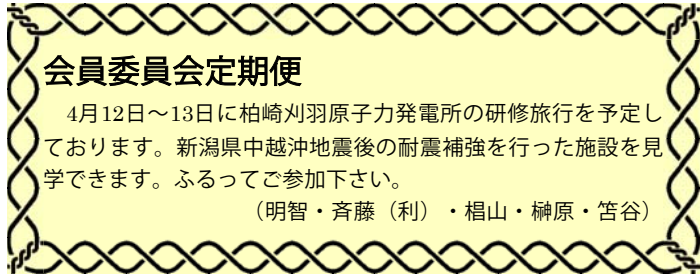
JSCA千葉代表
齋藤美佐夫氏の年頭挨拶

協力により千葉県においては順調に行われているとの報告がありました。さらに、耐震診断を行う設計者が足りない為、これまで行ったことのない会員への参加協力の呼び掛けがされました。次に来賓祝辞に移り、県土整備部建築指導課長の子安正宏様、並びに千葉市都市局建築部長の古内博道様より、建築行政に対する会員への感謝、及び更なる協力要請がありました。最後に、JSCA本部の木原硯美会長より2009年は2つの点において構造技術者にとって素晴らしい年になるとのご挨拶を頂きました。1つには、「構造設計一級建築士制度のスタート元年である。」2つには、「国交告示第十五号により構造設計業務報酬基準が明確化された。」との事でした。その後、県建築士事務所協会会長の内田久雄様の乾杯の発声のもと祝宴へと移りました。

(榊原、二面に続く)

JSCA千葉役員会議事録抜粋(佐藤)

役員会	加藤 義道	(2)適合性判定 構造ワークショップへの協力依頼について	2. 検討事項	(4)千葉県建築学生賞への寄付金の決定
代表 齋藤美佐夫	富島 誠司		(1)会員は指定講習会の受講を確実にすること 免許の減点等有り	(5)JSCA 本部の耐震判定委員会の立ち上げ報告
副代表 向後 勝弘	市原 嗣久	第6回10月7日	(2)スチール製パネル耐震シエルトの商品説明	第9回1月9日
園部 隆夫	富島 誠司	(16:00~18:00)	(3)新年会の準備 2月第1週の予定)	(16:00~18:00)
総務委員会 向後 勝弘	榊原 裕繁	出席 齋藤代表他17名	第8回12月9日	出席 齋藤代表他17名
園部 隆夫	園部 隆夫	1. JSCA 本部および関連他団体についての報告	(17:00~19:00)	1. JSCA 本部および関連他団体についての報告
長内 光雄	加藤 義道	2. 検討事項	出席 齋藤代表他15名	2. 検討事項
佐藤 暢彦	佐藤 暢彦	(1)適合性判定制度への意見書をまとめる JSCA サテライトより本部へ)	1. JSCA 本部および関連他団体についての報告	(1)千葉県建設技術センターでの平成21年度適合性判定員の更新について
西澤 博文	明智 孝夫	(2)見学会計画および親睦旅行計画の検討	2. 検討事項	(2)JSCA 千葉での青年層への参加及び交流について
会員委員会 明智 孝夫	向後 勝弘	第7回11月18日	(1)新年会行事予定の確認と来賓への案内担当 H21・2月2日に決定)	(3)適合性判定ワークショップの意見のとりまとめ
齋藤 利彦	飯島 宏治	(16:00~18:00)	(2)親睦旅行は柏崎刈羽原発の耐震補強工事に決定	(4)新年会行事内容の検討
梶山 誠治	真崎 雄一	出席 齋藤代表他12名		
榊原 裕繁		1. JSCA 本部および関連他団体についての報告		
研修委員会 菅谷 修作	平成20年度	2. 検討事項		
園部 隆夫	第5回9月3日	(1)耐震相談会へ前年度より引き続き講師派遣を決定		
市原 嗣久	(16:00~18:00)			
西原 忠	出席 齋藤代表他12名			
竹下 章治	1. JSCA 本部および関連他団体についての報告			
西澤 博文	2. 検討事項			
広報委員会 安田 良一	(1)耐震相談会へ前年度より引き続き講師派遣を決定			
菅谷 修作				



(一面からの続き)

祝宴では、2組のアーティストによるミニコンサートが行われました。



ハンク・マサとリジェンドカントリー懇親会にて

第一部は、JSCA・千葉監事役の真崎さん率いるハンク・マサ&リジェントカントリーによるカントリーミュージックの生演奏が披露された。

途中歌唱指導も入り心地よいリズム空間の中、出席者のお酒の量も自然と増していたようです。

次に、協力会員による熱気に満ちた会社PRが行われました。



若井有里亜さんと仲間達

第二部は、齊藤代表の姪御さんである若井有里亜さんのソプラノ歌唱とその仲間たちによるピアノ・フルート演奏が披露され、会場は先程とは違った雰囲気にも包まれたままアンコール曲の「トゥ

会員委員会定期便

4月12日~13日に柏崎刈羽原子力発電所の研修旅行を予定しております。新潟県中越沖地震後の耐震補強を行った施設を見学できます。ふるってご参加下さい。

(明智・齊藤(利)・相山・榊原・筈谷)



協力会員のみなさま

ーランドット」を持って終演となり、最後に園部副代表の音頭で三本締め+一本にて新年会の終了となりました。(榊原)



(株)千葉中央建工・吉田氏と、、、(広告、有り難うです)

平成20年度

適合性判定・構造設計ワークショップ開催

JSCA千葉副代表 園部隆夫

平成20年11月27日13時15分より16時30分千葉商工会議所第一ホールを主会場として「適合性判定・構造設計ワークショップ」(主催:千葉県建設技術センター、支援:千葉県耐震判定協議会)が開催されました。

お忙しい中、150名を超える出席を頂き、予定時間を30分延長するなど、自由な雰囲気、ルールに沿った積極的かつ有意義な意見交換の場を持つことができました。

情報の共有化、共通の認識、問題点の把握とその解決への方向性、対人関係の重要性、基準法運用上の注意点など、幅広い観点で判定員、設計者、確認審査機関担当者、各行政の審査担当者が、それぞれの立場で問題点の抽出、解決への方向性の検討・模索を考える時間を持つことができました。講習会でした。(次ページへ続く)

(前ページから続く)

開催に先立ちまして、千葉県県土整備部建築指導課石井邦彦主管より改正建築基準法についての説明をいただきました。

ワークショップは、5つのテーマを掲げ、それらのテーマに沿って話題提供、意見交換を行い、今後への改善提言を導き出せることもひとつの目標として進められました。千葉県建設技術センター構造評定部吉田究様より趣旨説明がなされたテーマは以下の5項目です。

- ①納まり等の詳細設計に対する指摘について
- ②杭間隔が確保できない場合の取り扱いについて
- ③RC造基礎の浮き上がりについて
- ④RC造ルート3における柱・梁接合部の設計用せん断力について
- ⑤連層耐震壁の開口部の取り扱いについて

上記テーマは前回開催されたワークショップにおいて、構造設計上重要な問題点であり、かつ、適合性判定においても判定員の考え方、扱い方に差異が出る可能性を持つ問題点を抱えたテーマとして掲げられました。

ワークショップはA～Gまでの7グループに分け、各グループにおいて、主たるテーマを含め5つのテーマについて1時間15分程度の短い時間のなかで議論をいただきました。5つのテーマすべてに触れることは時間的に無理があったことから、各グループ2から3テーマに絞り、議論は進められました。

最後に全体会にて各グループの議論内容を、グループリーダーに発表頂き、共通の認識として理解できた問題、継続して議論を進めてゆくべき課題などが明らかにされ、今後もこのような時間を持つことに賛同頂き閉会となりました。

各グループでの参加者の経験に基づく話題・疑問の提供は、非常に幅広く、参加されているメンバーの方々にとって有意義な場でありました。また、全体会での質疑において、「確認審査における構造設計部門の必要審査時間が不明快であり、設計業務が滞ってしまう場合がある」との意見が出され、よりスムーズな審査努力を進めると同時に、構造設計者においても、十分吟味した構造設計作業を進めること、高品質な構造設計成果物を作成、収めることを再確認した次第です。

ワークショップ意見交換会の報告

広報委員会 富島誠司

意見交換会の報告をします。整理の都合上5つのテーマを次の2つに分類してみました。

(A) ①詳細図の審査について、②杭間隔が小さい場合の設計について、④RC柱梁接合部の設計について —— これらは設計の手法に関する単独的なテーマに分類できます。

(B) ③基礎の浮き上がりの問題、⑤連層壁の開口問題 —— これらは設計の手法以前に検討が必要か否かの問題もあると考えられています。何故ならば黄色本には場合により検討が省略できることを示唆する記述があるからです。

意見交換会での流れは(A)には意見の差は少なく、(B)は差が出る傾向であった。この為(A)の報告を割愛し(B)に絞ります。

まずいろいろな意見を紹介します。「黄色本の解説文から検討の法的義務はない」が多数派であり、「黄色本は条件を限定した記述である」は少数派でした。他には「今後は塔状建物の検討法を提示する必要もある」、や「壁の開口パターン毎にモデル化を提案した」進んだ人もいました。半面「1枚の壁と見なす免罪符(ガイドのこと?)が欲しい」や、「JSCAでガイドラインを出して貰いたい」と些か持て余した感の意見もありました。中には「1次設計はしっかりやる」の意見は本質的で賛同出来るところがあります。

未だ今後に残り残した問題がありました。

最近のニュースによれば、姉齒以来何らかの理由で200名以上の一級建築士が懲戒処分を受けましたが、構造設計者も多数含まれていました。

構造の問題では設計者が「問題ないと検討を省略した」テーマでの過失が殆どです。今回の意見交換会の経験からも、やや難しい問題に直面した時は他人の黄色本に正解を求めるのではなく、先ず自身でより問題を易しくして判断していく癖が必要と感じました。

マサコラム 15

私の見た母の夢

手元にある本は「ヴィジョン」トムブラウン・ジュニア「著」さいとうひろみ「訳」徳間書店発行、副題「次元のペールを超えて見た地球の未来」です。

主人公の見た母の夢が地球環境問題を抱える我々の現状、態度について、強烈なイメージメッセージを発していますので一部抜粋の要約してご紹介いたします。

「女の人が怖がって叫ぶ声がきこえた。見回すと目の前に母が横たわっていた。母は瀕死の状態、傷口から沢山の血が流れ、彼女の周りには腐った生ゴミや擦れた金属や薬品が散らばっていた。私は駆け寄ろうとしたがなぜか金縛り状態で動くことができなかった。年配の男がお母さん向ってバケツに入った化学薬品をかけた。そして顔をめがけて思い切り蹴った。彼女の口と鼻からは血が流れ出した。苦痛を訴えるかすかな声が出た。人々が私の横を通りすぎ、お母さんを蹴

ったり、体から肉を切り取ったりした。

別の人々は足や腕の骨を折り、沢山のゴミを投げ捨てた。痛みにも苦しみながらも、自分を殴り続ける人々を、お母さんはじっと見つめて愛を注いでいた。彼女は必死になって人々に触れようとしたが、彼らはそれを無視して殴り続けた。人々はどんどん押し寄せた、途切れる事の無い暴力はますますひどくなっていった。尿をかけるもの、顔に便をこすりつけつける者、そして、彼女の血管に汚染した液体を注入するものまでいた。お母さんは少しずつ死に絶えていくのがわかったが、それでも人々は押し寄せた。そんな彼女を気にする人はほとんどいなかった。何人かが哀れんで首を振っていたが、そのまま通りすぎてしまった。中には彼女の顔や腕を踏んでいる事すら気がつかない者もいた。大衆の襲来が一瞬途切れた。私は倒れているお母さんの姿を眺めていた。目に涙が溢れ、激憤によって体が震え出した。すべての筋肉に力をいれて、どうにか固まって動かない体を自由にしようと試みた。その間中ずっと、お母さんは何も言わずに私の事を見つめていた——。」この母、彼女は我々人類を育む知性ある生命体、ガイアである地球そのものです。 眞崎雄一

鉄骨造建築物への新提案

旭化成建材株式会社
AsahiKASEI

現場無溶接継手工法

国土交通大臣認定取得

イーカプラ®

現場溶接不要!

食い違いなし!

工期大幅短縮!

柱はり接合工法

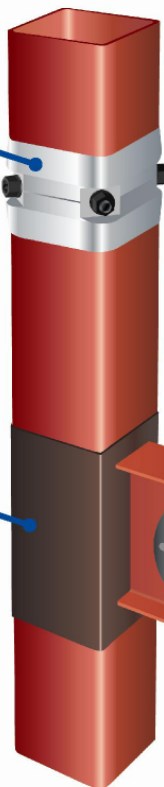
(財)日本建築センター 一般評定取得
国土交通大臣認定取得

Fabluxe® G

高性能鋳鋼!

高い設計自由度!

溶接手間の軽減!



貫通孔補強工法

(財)日本建築センター 一般評定取得

フリードーナツ®

作業工数を大幅低減!

はりの変形・縮みなし!

はり貫通孔部分の性能が明快!

お問い合わせ



株式会社千葉中央建工

〒264-0005 千葉市若葉区千城台北1-16-1

TEL. 043 (237) 2131 (代)

FAX. 043 (237) 2333

編集後記 (2009. 2. 28)

新年会の後おなががいっぱいなので、久々に「つまみが碁」の snacks を訪問。与謝野大臣と民主党小沢代表の対局はTVでも紹介されてましたが、こちらも手合い拮抗の会員による手談です(写真)。

1月に囲碁普及指導員の集まりに参加した時、元教職員の方が、「選択制でもよいから囲碁と将棋を義務教育に」と発表してい



伊達会員VS坂恵会員

たのは、意外というか我が意を得たりというか。／碁か酒かどちらが好きと訊かないでところで「かんぽの宿」問題で、「私は郵政民営化には反対だった」発言が取り沙汰された麻生総理、実は自身の安全をカンボした、シチョウアタリの一手だったのかなど。ツルノスゴモリの柿い結末はいつでしょうか。総理が普及マンガ「ヒカルの碁」を読んでいたらどうかこの文化をアメリカにも。／アメリカのマリオネットのくに日本(安田)